

### 1-3-9 市指定・加藤光正墓

〈市指定〉昭和 30 年 11 月 7 日

〈所有者〉法華寺

〈所在地〉天性寺町 62 番地

〈時代〉江戸時代（17 世紀）

〈員数〉1 基

五輪塔（1 基）総高 285 cm

東山法華寺の裏山にある。光正 1 周忌の寛永 11 年（1634）7 月 16 日建立、天明年間（1781～1789）一部を修造した。

光正（光広）は熊本藩主加藤忠広の嫡子で、清正の孫にあたる。寛永 9 年（1632）忠広は参府の途中、品川で入府を差し止められた。次いで肥後 1 国を没収され出羽庄内の酒井忠勝に預けられ、光正は飛驒に流された。改易の理由は明らかでないが、江戸で生まれた子を将軍大喪の折ひそかに国もとへ送ったためとか、土井利勝が謀反の偽書を諸大名に回送したとき忠広だけ届け出なかったためとか伝えられている。

高山藩主金森重頼に預けられた光正は、生涯月俸 100 口を賜わり、天照寺に閉居し、寛永 10 年（1633）7 月 16 日病死した。享年 19 歳（法華寺光正碑）であった。

加藤氏・木村氏等は光正の従臣で、光正の死後も当地に居住した。

#### 参考文献

『高山の文化財』197～198 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年 3 月 31 日